

# 特殊法人等改革推進本部 参与会議ご説明資料

平成 1 7 年 4 月 2 7 日  
情 報 通 信 研 究 機 構  
理 事 長      長 尾      真

## I 説明事項

1 情報通信分野の研究開発を取り巻く状況	.....	3
2 独立行政法人情報通信研究機構(NICT)の概要	.....	4
3 業務運営の効率化に向けた取組み	.....	5
3-1 予算の効率化		
3-2 要員の適正化		
3-3 地方拠点の配置の効率化		
3-4 理事長のリーダーシップの発揮による改革の推進		
4 自己収入の増加等による財源の多様化に向けた取組み	.....	10
5 次期中期計画に向けた更なる効率化への取組み	.....	11
5-1 次期中期計画に向けた研究開発業務等における「選択と集中」		
5-2 次期中期計画期首における非公務員型の独立行政法人への移行		

## II 共通事項

1 平成17年度予算計画	.....	14
2 組織構成	.....	15

## III 参考資料

1 欧米における情報通信分野の研究開発動向	.....	17
2 NICTの沿革	.....	18
3 NICTの主な業務	.....	19
4 NICTビジョン	.....	24
5 アドバイザリーコミッティーの開催	.....	27
6 最近の研究成果の発信例	.....	28

# I 説明事項

# 1 情報通信分野の研究開発を取り巻く状況

情報通信分野は、科学技術基本計画において、国家的・社会的課題に対応した重点化すべき4つの研究開発分野のひとつとして位置づけられている一方、近年の民間における同分野の研究開発活動は、NTTの民営化、再編成等に伴い、縮小傾向にある。

## 総合科学技術会議（2001年1月設置）

### 科学技術基本計画

（2001年3月閣議決定）

#### 科学技術の戦略的重点化

- 基礎研究の推進
- 国家的・社会的課題に対応した研究開発の重点化  
（ライフサイエンス、**情報通信**、環境、ナノテクノロジー・材料）

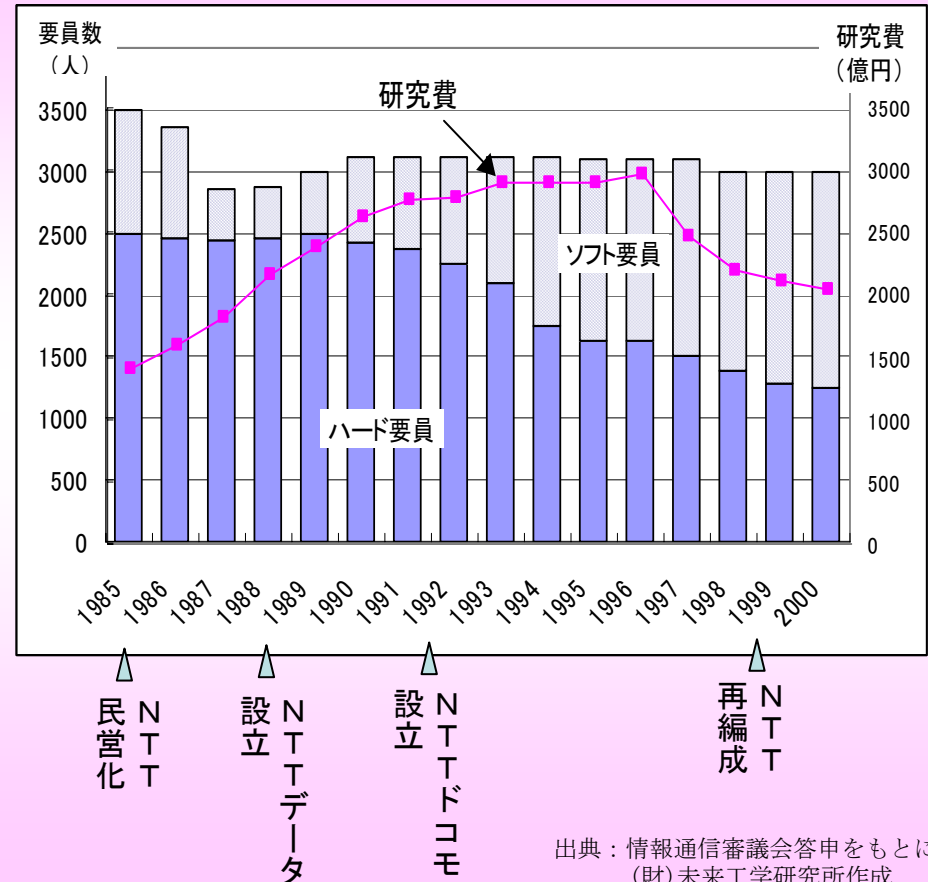


### 平成17年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針

（2004年5月総合科学技術会議決定）

- 基礎研究の推進
- 重点4分野等の着実な推進  
（我が国が強みを有する分野・領域を重点的に推進）
- 安心・安全な社会を構築するための科学技術の推進

## NTT研究開発費と研究開発要員の推移



## 2 独立行政法人情報通信研究機構(NICT)の概要

*NICT: National Institute of Information and Communications Technology*

### 主たる業務

- ✚ 情報通信分野を専門とする唯一の公的研究機関として、わが国の国際競争力と社会の持続的発展の源泉である情報通信技術（ICT）について、基礎的研究開発から先導的研究開発までを一貫して実施するとともに、大学、民間等の研究開発を支援する戦略的ファンディング、通信・放送事業の振興等を総合的に推進。

【参考】「独立行政法人情報通信研究機構法」より

- 情報の電磁的流通及び電波の利用に関する技術の研究及び開発
- 高度通信・放送研究開発を行う者に対する支援
- 通信・放送事業分野に属する事業の振興

### 発足時期

- ✚ 平成16年4月1日、独立行政法人通信総合研究所（CRL）と認可法人通信・放送機構（TAO）が統合し、新たな独立行政法人として発足。

### 中期計画期間

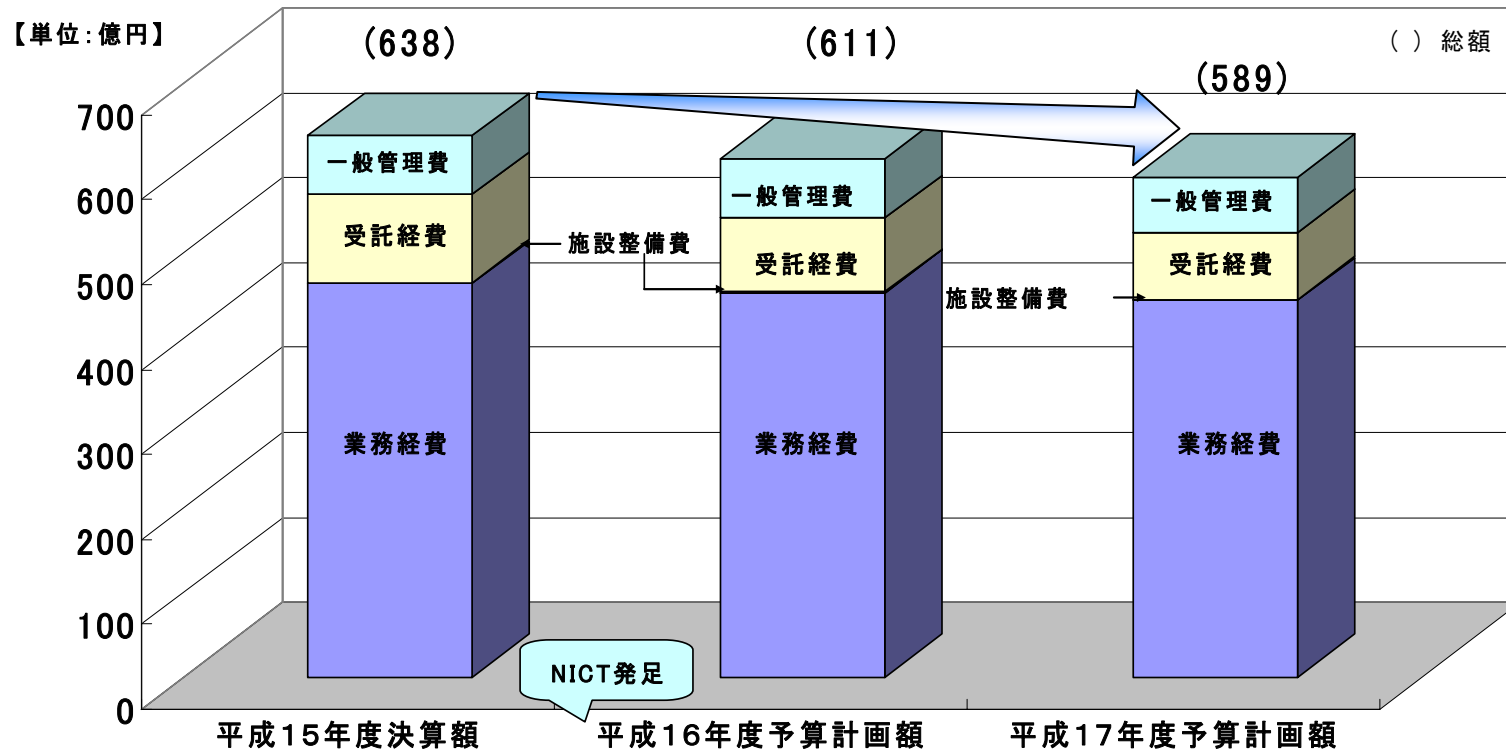
- ✚ 平成13年4月～平成18年3月（NICTとしては、平成16年4月～平成18年3月）

### 予算規模

- ✚ 平成17年度収入：約604億円（うち運営費交付金 約381億円）

## 3-1 予算の効率化

- CRL・TAOの統合時、社会経済環境の変化等に伴い社会的ニーズが低下したと思われる業務を廃止するとともに、各種事務の効率化等を推進することにより、大幅な予算の効率化を実現。
- さらに、CRL・TAOの統合効果を発揮し、基礎から実用化までの一貫した研究開発等の業務の推進により優れた研究成果を発信しつつ、より一層の予算の効率化に向けて取組んでいるところ。



【参考】一般管理費及び事業費の効率化状況

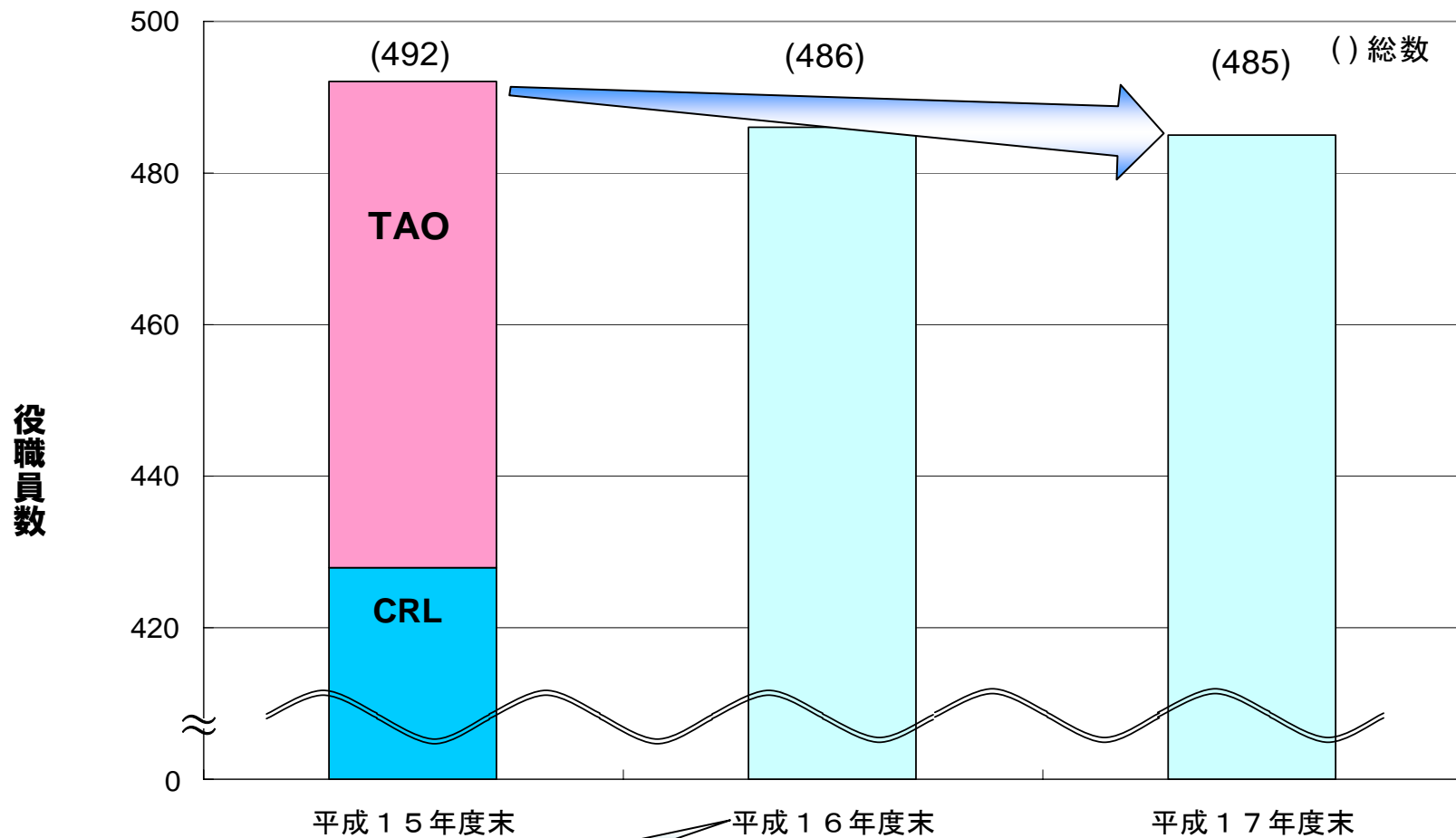
	平成15年度決算額※1	平成17年度想定削減額（予算計画（支出）ベース）
一般管理費	69.1億円	▲ 4.7億円（6.7%効率化）
事業費※2（繰越額を除く）	568.8億円	▲ 44.7億円（7.9%効率化）

※1 CRLとTAOの合計額。

※2 基金に係る一部業務等を除く。

## 3-2 要員の適正化

✚ 近年の情報通信技術の急速な発展に伴い研究開発業務が多様化する中、優れた成果を発信しつつ、要員増を抑制し、要員配置の適正化を推進。

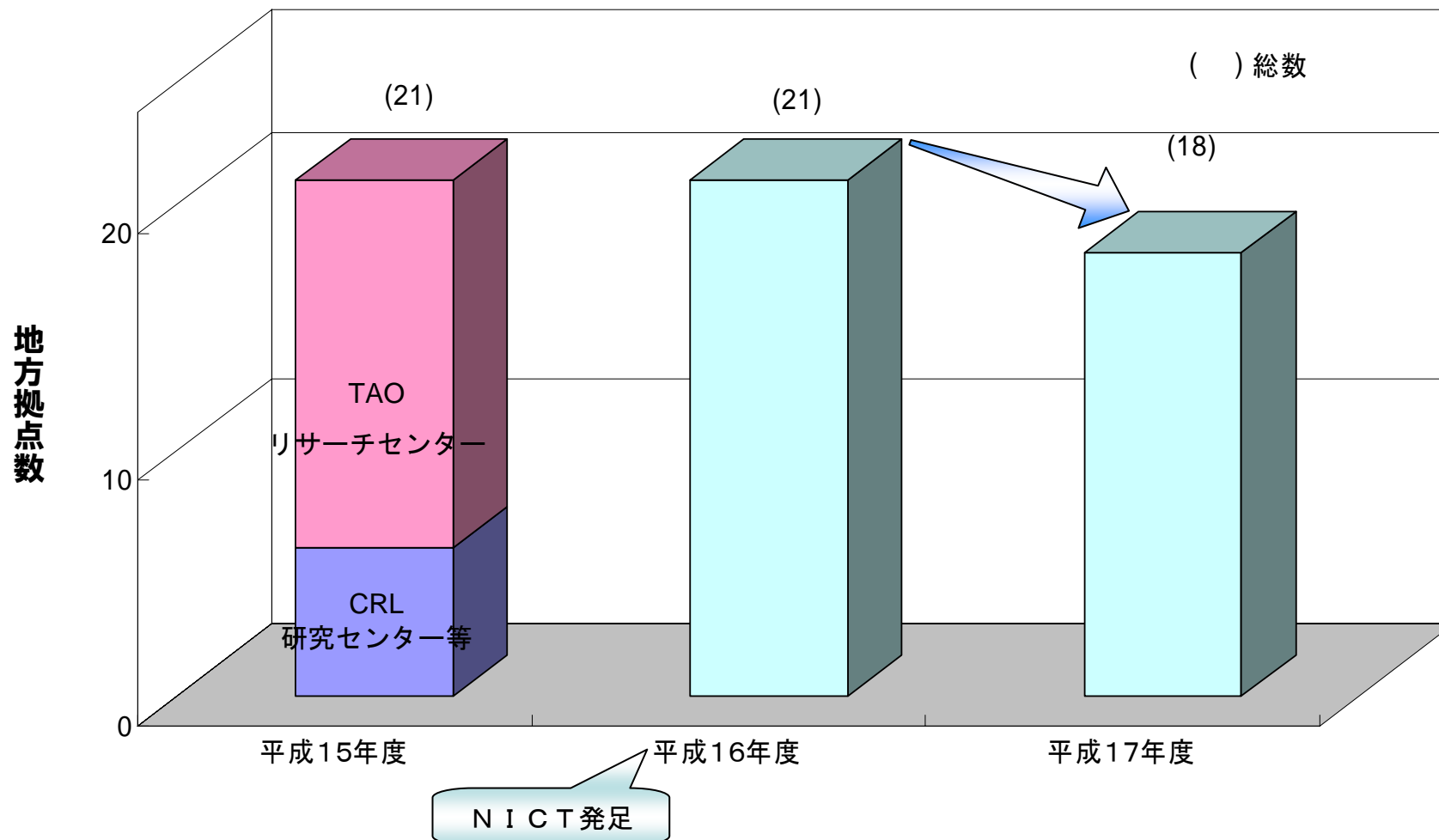


NICT発足

【参考】 役員数：平成15年度計12名から、平成16年度のNICT発足後、8名に削減。

### 3-3 地方研究拠点の配置の効率化

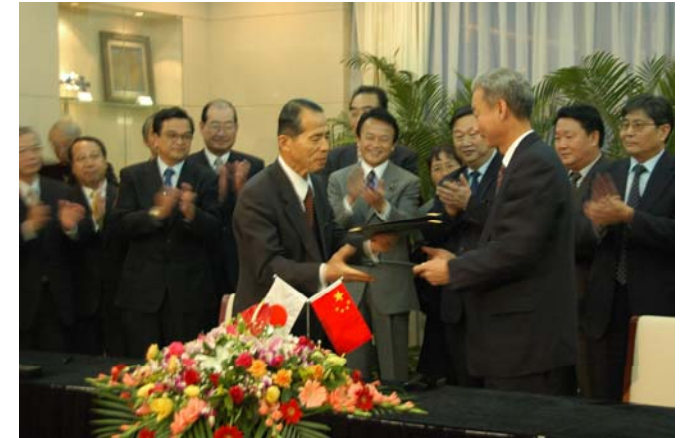
✚ 情報通信分野における研究開発を取り巻く社会経済等の環境の変化等に鑑み、研究開発業務の効率化を推進する観点から、地方における産学官連携の研究拠点であるリサーチセンター等の集約化を実施。



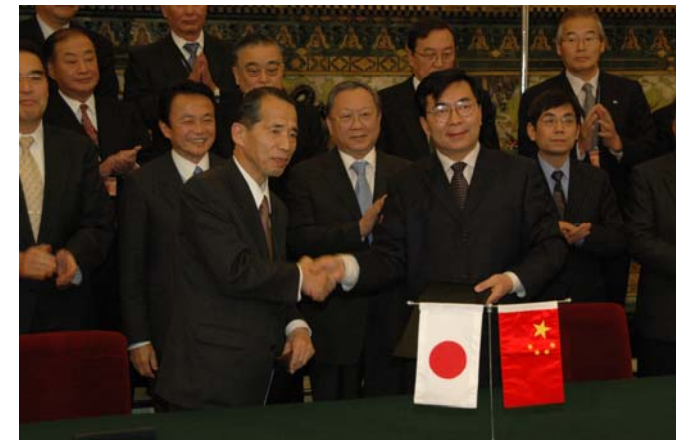


## 3-4 理事長のリーダーシップの発揮による改革の推進

- ✚ 研究開発推進ユニットの発足
- ✚ アドバイザリーコミッティーの開催
- ✚ N I C Tの顔としての対外アピールと国内外の研究機関との連携の推進
- ✚ N I C Tビジョンの策定
- ✚ 「憲章」の策定に向けた検討
- ✚ 国際標準化の推進体制の整備に向けた検討



中国情報産業部・電信研究院 (China Academy of Telecommunication Research of MII) との調印式(1月5日(水))の模様



中国科学院 (Chinese Academy of Sciences) との調印式(1月6日(木))の模様

## 「研究開発推進ユニット」の発足

✚ CRL・TAOの統合効果を最大限発揮し、研究開発プログラムの推進をさらに加速させ、優れた研究成果を発信しつつ、基礎から実用化までの一貫した研究開発の推進による業務の更なる効率化を達成するため、6つの研究開発プログラム※について、NICTが自ら取組む研究開発と外部への委託等による研究開発の分担・協調等の関係部門間の調整を行う部門横断的な研究開発推進ユニットを発足。

※ フォトニックネットワーク、研究開発ネットワーク、情報セキュリティ、新世代モバイル、EMC、光・量子通信

### 研究開発推進ユニットの構成(イメージ)

